

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	鈴木・植木
	全体計画						経費区分		-		内線	3516
事務事業名	4217 河川管理事業											
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
施 策	16033300 橋や道路整備の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	080301 土木費・河川費・河川総務費										
	事業	020000 河川管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
災害・水害に強いまちづくり						河川管理施設の維持管理に努めると共に河川改修事業の促進に向け組織する関係市町村と共に国県へ要望し、災害・水害に強いまちにする。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
水路浚渫工事の実施。山崎川河畔林整備工事	旧百々川浚渫工事、古川浚渫工事 千曲川堤防嵩上・舗装工事
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		85,963	49,847
特定財源	国庫支出金	16,114	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	57,300	45,000
	その他	0	0
一般財源		12,549	4,847
人員数(人)	正規職員	0.4	0.9
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,787.2	6,271.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,787.2	6,271.2
市民一人当たりの経費		1.7	1.1
総額		88,750.2	56,118.2

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	38	消耗品8、燃料費20、光熱水費10
12節 委託費	27,655	測量設計委託料1,925、その他委託料25,730
14節 工事請負費	57,343	工事請負費57,343
18節 負担金補助及び交付金	927	負担金507、補助金420
その他	0	

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	38	消耗品費8、燃料費20、光熱水費10
12節 委託費	1,760	測量設計委託料1,000、その他委託料760
14節 工事請負費	46,000	工事請負費46,000
18節 負担金補助及び交付金	1,976	負担金1,556、補助金420
その他	73	通信運搬費73

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	河川の維持管理上必要な事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	河川の管理上での問題を解消し、成果は上がっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	場所により内容が異なるため、コスト削減は難しい。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

区からの要望が年々増加し、緊急性の高いところから適正に修繕を進めている。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
住民要望を踏まえ、優先順位を決め、引き続き事業を実施する。		河川堤防の強化や、河川の浚渫など、関係機関への要望を行い、洪水等の被害を未然に防ぐため、継続して進める必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	